



年頭挨拶

町立病院 院長 水野正巳



新年あけましておめでとうございます。

令和3年の新春を健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。

令和3年の医療のトピックスは残念ながらコロナウイルスでしょう。コロナウイルスは一本鎖いっほんさのRNAウイルスで人に病原性があるものは6種類であり、その内SARSとMERSの原因ウイルスの2つは重症肺炎を起こす特別なもの、残りの4つは普通の風邪を起こします。今回の新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)は7種類目になります。

SARSは2003年、主に中国、台湾、ベトナムで被害をもたらし、MERSは2012年中東サウジアラビアを中心に発生し、その地域からの帰国者に端を發した2015年韓国で大きな被害ができました。日本では一人の症例もなく良かったのですが、感染対策は進みませんでした。令和2年初めからのクルーズ船などの感染ではPCR検査のキャパシティや保健所の人員の著しい不足が炙り出されま

した。

感染の広がり方は、インフルエンザのように一人の感染者から周囲に広がるのとは異なり、感染者の8割は周囲に感染させず、そのほかの感染者が多くの人に感染させ、クラスター感染となります。クラスターの報道が多いのはそのためです。

またコロナウイルスの感染源は、発症前の人からが45%、無症状の人からが5%で症状のない人からが半数を占めています。有症状者からは40%、接触感染等環境からの感染は10%です。

感染しないためには感染の流行地へは行かず、ワクチンによる集団免疫ができるまで3密を避けることです。幸いスペイン風邪を含めパンデミックは必ず終息しています。

以上をもちまして、町民皆さまのご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、新年にあたっての挨拶とさせていただきます。